

第6回食道HRM/HRIMセミナー

のご案内

日時：平成30年10月31日(水)
[16:00~21:00]


in神戸



ST4000/36K12

食道内圧測定検査保険点数

食道内圧測定検査 780点
胃・食道内24時間pH測定検査 1,300点

主 催  スターメディカル株式会社

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-14-12
Tel:(03)5604-1641 Fax:(03)5604-1645

第6回 食道HRM/HRIMセミナー発表概要

1 食道機能検査の新たな幕開け—HRMによる評価— 秋山 純一 先生 / 国立国際医療研究センター

高解像度内圧測定 (high-resolution manometry: HRM) は、嚥下障害、胸痛、逆流などの症状を有し食道運動障害が疑われる患者の診療に有用であり、現在ではその診断基準としてシカゴ分類が広く用いられるようになった。しかし、HRMでは食道の収縮力を捉えるのみであり、実際に食道内容物が輸送されているか否か(食道輸送能(ボラスクリアランス))についての情報は得られないため、食道造影検査による確認が別途必要であった。

近年、高解像度インピーダンス内圧測定 (high-resolution impedance manometry: HRIM) が開発され、食道内腔の圧力と共に電気抵抗 (インピーダンス) の変化も測定できるようになり、食道収縮と食道輸送能の双方を同時に評価することが可能となった。また、内圧だけでなくインピーダンスもカラー表示し、視覚的に食道輸送能も捉えることができ、最近では自動解析ソフトも開発され、瞬時に判定できるようになった。本講演では、実際の症例を提示しながら、HRMの基本とHRIMの有用性について紹介する。

2 実臨床における内圧所見解釈の実際 池田 晴夫 先生 / 昭和大学江東豊洲病院

内圧検査における内圧とは？

HRMにおいては食道管腔内の圧力を視覚化し、圧力上昇部のパターンにより機能異常の診断をする。

表示される圧力は以下に大別できる。

① 食道の収縮により食道壁がセンサーを締め付けることによる圧力：contraction (LESの弛緩不全圧力も含む) ⇒ contact pressure

② 主に流出路の閉塞 (outflow obstruction: OO) に伴い出現する閉鎖空間の加圧現象：pressurization ⇒ non-contact pressure

pressurizationは基本的に食道の機能異常が存在するとき出現するが、その背景にはcontractionとOOが存在する。

当日は実際の症例を食道造影所見とともに供覧し、食道運動と内圧所見との関係やper-oral endoscopic myotomy: POEMの際にどのように参照しているかを提示し、国内のエキスパートの先生方にご検討いただきます。

3 データ収集と解析 栗林 志行 先生 / 群馬大学医学部附属病院

高解像度内圧検査(High resolution manometry: HRM)が開発され、食道内圧検査のデータ収集及びデータ解析ともに簡便化されましたが、基本的な食道運動の病態生理や使用している機器の特性を理解している必要があります。適切にデータが収集されていれば、エキスパートに相談して診断することも可能ですが、データ収集が不適切な場合には、評価が難しくなってしまう場合があります。


ハンズオンでは、実際に当院で行っている方法で食道内圧検査を実施して、鼻腔の麻酔法やカテーテル挿入の仕方、水嚥下の際の注意点、データの解析法などを解説させていただきます。

4 スターレットを用いた自動解析および自動診断 栗林 志行 先生 / 池田 晴夫 先生

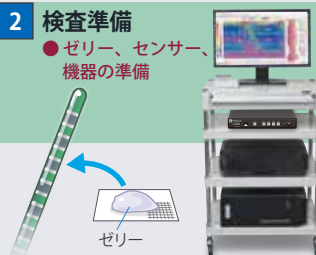
High resolution manometry (HRM)では、解析する前に上部食道括約部や食道胃接合部、胃、pressure inversion point (PIP)などの位置を決めて、一つ一つの水嚥下についてチェックする必要があります。また、自動計算された各パラメータの値をもとに、シカゴ分類のフローチャートに当てはめて診断を行う必要があります。ここでは、現在開発中の自動解析および自動診断について、そのやり方や現段階での診断の正確性について、実際のデータを用いて紹介させていただきます。

HRM/HRIMによる食道機能検査


1 インフォームド・コンセント
● 嚥下障害、胸痛、胸焼け、症例
● 内圧検査のすすめ




2 検査準備
● ゼリー、センサー、機器の準備



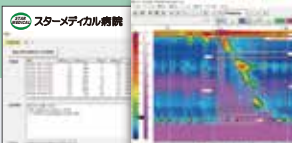
3 センサー挿入
● 3~5分




4 咽頭、食道内圧検査
● wet swallow 10回
左側臥位



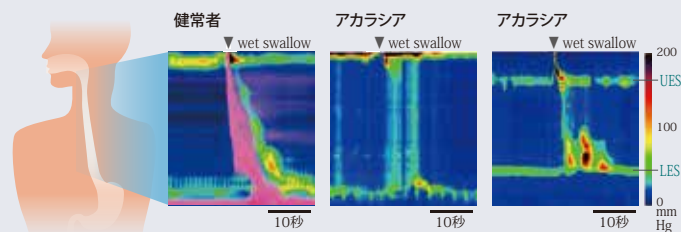
5 解析
● 検査時間：3~5分



6 検査データの説明
● 嚥下指導、治療方針



検査データ | High Resolution Manometry



第6回 食道HRM/HRIMセミナーのご案内

■日時・会場

平成30年10月31(水) 16:00～21:00(受付開始16:00～)
 富士ゼロックス総合教育研究所 スペースアルファ三宮
 三宮センタープラザ東館 6F 特大会議室(中会議室①+②)

■司会・コメンテーター

本郷 道夫 先生(公立 黒川病院 管理者)
 草野 元康 教授(群馬大学)

■セミナー概要

16:00～16:45	開場・受付
16:45～16:50	開催の挨拶(本郷先生/草野先生)
16:50～17:40	国立国際医療研究センター病院 秋山 純一 先生 (40分) HRM/HRIMの使い方と利用 (10分) 質問
17:40～18:40	昭和大学江東豊洲病院 池田 晴夫 先生 (50分) 臨床データに基づくディスカッション (10分) 質問
18:40～19:00	休憩
19:00～20:10	群馬大学医学部附属病院 栗林 志行 先生 (60分) ハンズオン…データ収集と解析 (10分) 質問
20:10～20:30	群馬大学医学部附属病院 栗林 志行 先生 (20分) 自動解析と自動診断
20:30～20:45	全体質問 (15分)
20:45	終了


■募集概要

- ・定員 : 60人
- ・募集対象者 : 医師、看護師、臨床検査技師の方々

■参加費

- ・医師 : ￥10,000
- ・看護師、検査技師 : ￥5,000

■主催

 スターメディカル株式会社

セミナーのお申込み 事前申込制 定員になり次第締切

下記メールアドレス、又は FAX にて氏名、住所、勤務先、所属を御記載の上、お申込みお願いいたします。

k-takarada@starmedical.co.jp

FAX 申し込み FAX : 03-5604-1645

セミナー参加申込書

第6回 食道HRM/HRIMセミナーのご案内

氏名 _____

住所 _____

FAX番号 _____

勤務先/所属 _____

お振込み確認後、請求書と受講券をお送りいたします。
 指定の銀行口座にお振込みください。なお、振込み控書をもって
 領収書と代えさせていただきます。振り込み手数料は各自ご負担
 をお願いいたします。

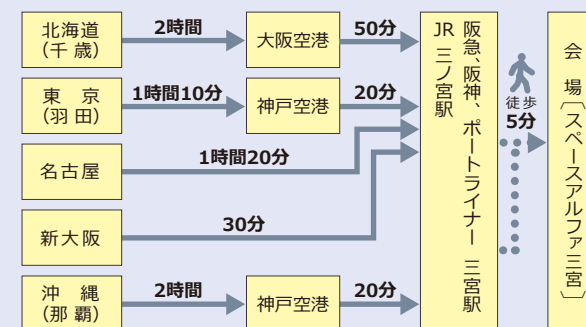
振込先 : 三井住友銀行 マチヤ 町屋支店(当)6200554
 オグ みずほ銀行 尾久支店(当)0121744
 口座名 : スターメディカル株式会社

注) 受講券発行後セミナーのお申込み完了とさせていただきます。
 お申し込まれた場合、お申込後のキャンセルはお受けできません。
 あらかじめご了承ください。
 ご本人が受講できない場合は代理の方のご出席をお願いいたします。

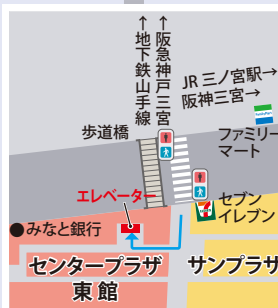
お問合せ セミナー事務局 (TEL 受付時間 9:30～17:00)
 TEL : 03-5604-1641 FAX : 03-5604-1645
 E-mail : k-takarada@starmedical.co.jp

来場のご案内

会場までのアクセス



アクセスマップ



富士ゼロックス総合教育研究所
スペースアルファ三宮
 三宮センタープラザ東館6F
 〒650-0021 兵庫県神戸市中央区三宮町1-9-1
 Tel: **078-326-2540**

JR : (三ノ宮) 駅
 阪神、地下鉄、ポートライナー : (三宮) 駅
 ⇒ 徒歩約5分
 地下鉄海岸線 : (三宮・花時計前) 駅
 ⇒ 徒歩約3分



スターメディカル 株式会社

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-14-12 太陽ビル5F Tel.(03)5604-1641/Fax.(03)5604-1645
 E-mail:starmedical@starmedical.co.jp http://www.starmedical.co.jp